

環境経営レポート

2025年度 第12期

(対象期間: 2024年9月1日 ~ 2025年8月31日)



2026年3月31日 発行

目 次

環境経営方針	2
組織の概要	3
事業の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の計画	7
環境関連法規等の遵守状況	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	14
取組紹介	15
編集後記	16

ごあいさつ

中西宝山園は、琵琶湖の広がる自然景観美を望む守山のまちに、昭和7年の創業以来滋賀県を中心に地域と寄り添いながら、土木・舗装・造園のプロとして、暮らしの環境整備に努めてまいりました。

昨今、SDGs・カーボンニュートラルに始まる環境意識や働き方改革、複雑化するお客様のニーズ等、時代は“造る”から“育てる”という時代に変化し続けております。

私たちは、この目まぐるしいスピードで変化・多様化する建設業界において、長年にわたり培ってきた「技術」と「信頼」をさらに追求し、『人と自然が調和する環境づくり』と地域社会の発展に貢献してまいります。



代表取締役社長
小西 新次

GEON に込める想い

「地球・土地」を意味する言葉であるGEO（ギリシャ語でジオ、ゲオ）に、中西宝山園の頭文字“N”を結び付けた造語で、人間と自然の調和を図り、英知と勇気と情熱を持って、未来を切り拓く企業ポリシーが込められています。

めまぐるしく変化する社会情勢の中、より高度な技術を養い、グローバルな視野に立ち、人間を重視した、より豊かな生活環境づくりを行っていきます。

環境経営方針

制定日：2023年9月1日

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

環境保全への行動指針

当社は、滋賀県の湖南地域を中心とした土木・舗装・造園工事の事業をおこなっています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運営し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 環境活動を計画的に取り組み実施します。

- * 脱炭素化社会に向けて、事務所・現場での電気使用量及び建設重機・車両の燃料使用量を削減し、CO₂の排出量を削減します。
- * 建設現場の廃棄に関し、廃棄物の発生抑制に努め、分別を積極的に実施することにより建設リサイクル率の向上に努めます。
- * 建設現場から排水する水の汚染・汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
- * 施工で使用する化学物質を適正に管理します。
- * 環境に配慮した施工を推進します。
- * 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加し、社会貢献に努めます。

3. この経営環境方針は、全従業員に周知・徹底します。

組織の概要

(1) 名称及び代表者名
 中西宝山園株式会社
 代表取締役 小西 新次

(2) 所在地
 本 社 滋賀県守山市荒見町132番地の1

	本社	駐 車 場	資機材置場	その他
延床面積 m ²	936.22 m ²	1,659.50 m ²	5,614.10 m ²	5,367.54 m ²

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 管理責任者 取締役 営業本部長 茂籠 和哉
 連絡担当者 営業部 西村 由起 TEL:077-583-3116

(4) 事業内容
 土木工事、舗装工事、造園工事

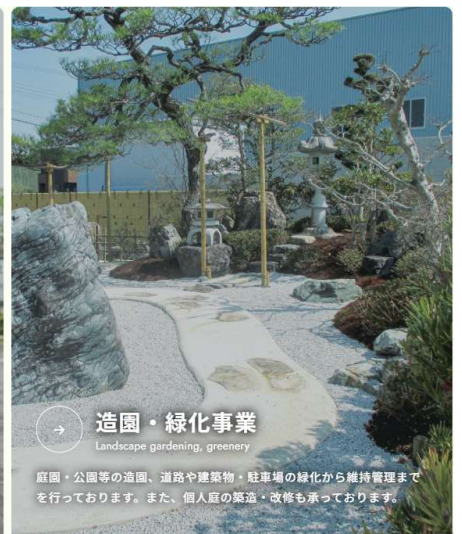
(5) 事業の規模
 売上高 1,455 百万円 (2025年度 第12期)
 従業員数 28 名 [役員及び出向者を除く] (2025年9月1日現在)

(6) 事業年度 9月1日～翌年8月31日

(7) 許可免許
 ・建設業許可 [滋賀県知事許可 特25 第022854号]
 ・産業廃棄物収集運搬業許可 [滋賀県知事許可 第02500181359号] 註)自社運搬による

◆認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 中西宝山園株式会社
 対象事業所 : 本 社
 活動範囲 : 土木工事、舗装工事、造園工事

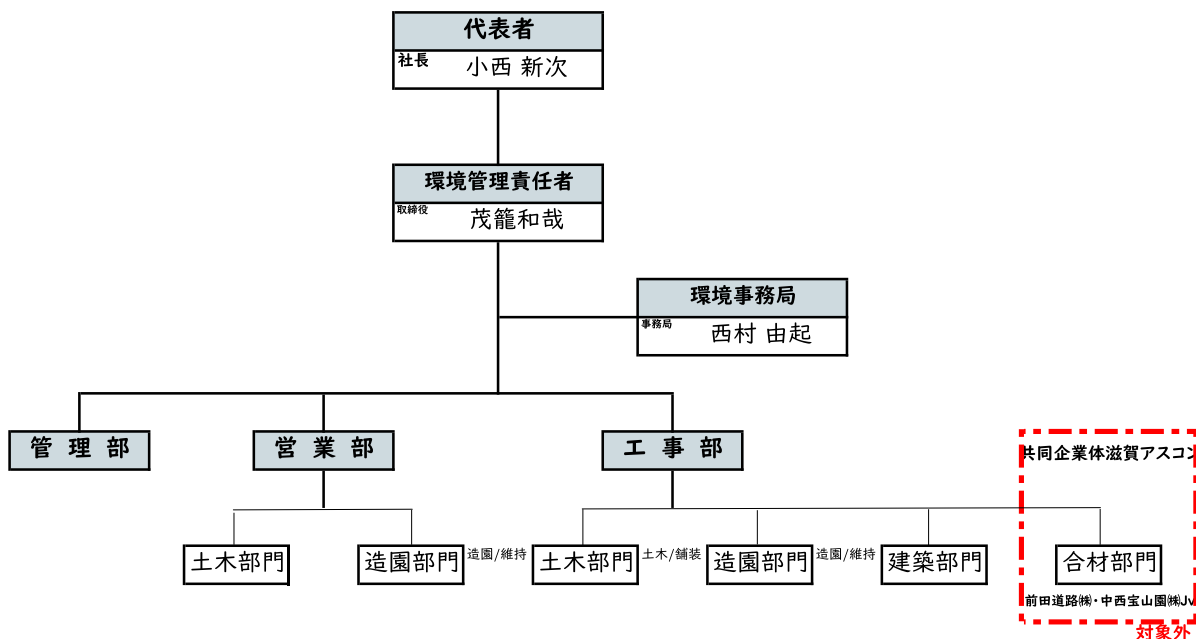


◆事業の紹介



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2025年9月19日



役割、責任及び権限一覧

担当	内容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	153,020	155,110	151,667
Scope1(化石燃料)	kg-CO ₂	109,063	134,863	128,991
Scope2(電力)	kg-CO ₂	18,157	20,247	22,676
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	67	76	85
産業廃棄物排出量	トン	3,280	3,790	3,841
水使用量	m ³	1,066	977	371

※電力の二酸化炭素排出係数は関西電力2020年度の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを使用している

※上表の二酸化炭素排出量には目標に掲げていない灯油及びLPGによる排出量が含まれている。

環境経営目標及びその実績

項目	年度	2024年	2025年度		評価	2026年度	2027年度
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	57,684	56,530	64,604	×	55,953	55,377
	kg-CO ₂	20,247	19,842	22,676	×	19,640	19,437
	基準年度比	100%	98%	112%	-	97%	96%
LPGによる二酸化炭素削減	kWh	4.55	4.46	1.66	○	4.42	4.37
	kg-CO ₂	13.66	13.39	4.97	○	13.25	13.12
	基準年度比	100%	98%	36%	-	97%	96%
灯油による二酸化炭素削減	kWh	198.00	194.04	161.00	○	192.06	190.08
	kg-CO ₂	493.02	483.16	400.89	○	478.23	473.30
	基準年度比	100%	98%	81%	-	97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	ガソリン(ℓ)	19,990	19,590	17,233	○	19,390	19,190
	軽油(ℓ)	23,740	23,265	34,343	×	23,028	22,790
	kg-CO ₂	107,626	105,473	128,585	×	104,397	103,321
	基準年度比	100%	98%	119%	-	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	128,380	125,812	151,667	×	124,528	123,245
売上高原単位	kg-CO ₂ /百万円	59	-	104		-	-
一般廃棄物の削減	kg	76	72	85	×	70	68
	基準年度比	100%	95%	112%	-	93%	90%
産業廃棄物の削減	トン	3,791	3,412	3,841	×	3,033	2,654
	基準年度比	100%	90%	101%	-	80%	70%
建設副産物の再資源化率の向上	%	95%	96%	100%	○	97%	98%
	発生量(t)	3,791	3,639	3,841	○	3,677	3,715
水道水の削減	m ³	977	957	371	○	948	938
	基準年度比	100%	98%	38%	-	97%	96%
溶剤・化学物質の適正管理		使用時には適正管理する					
環境に配慮した工事の推進		行動目標(次項による)					

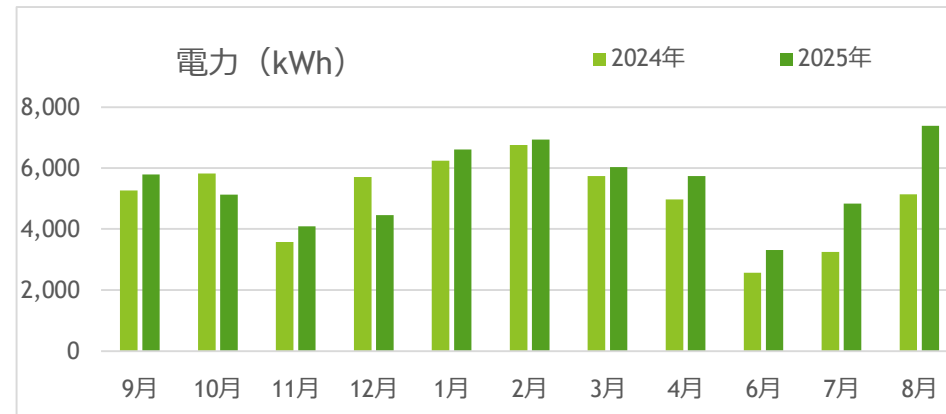
※電力の二酸化炭素排出係数は関西電力2020年度の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを使用している

環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	
取り組み計画	達成状況
数値目標	×
・空調温度(室内温度)の適正化	○
・不要照明の消灯	○
・働き方見直しによる残業時間の短縮	△
・作業・業務の見直しによる効率化	○
・断熱・保温の強化(扉・開口部の隙間対策)	△

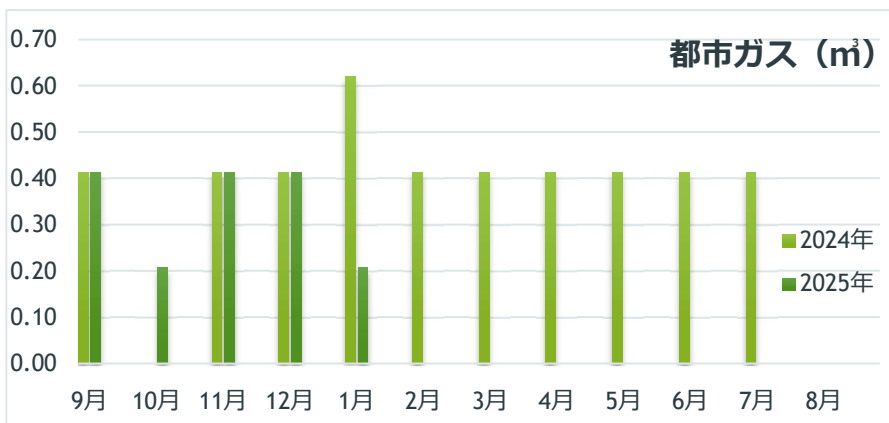


取組紹介

- ・エアコンの適正温度の設定を行う
[冷房26℃ 暖房22℃]
- ・こまめな消灯を行う
- ・仮事務所での使用の為、一時的に必要となるものはレンタルを利用し、省エネ対応のものにする。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2024年	5,262	5,818	3,575	5,707	6,241	6,755	5,731	4,966	2,563	2,563	3,244	5,136
2025年	5,790	5,122	4,085	4,448	6,603	6,935	6,032	5,734	4,328	3,313	4,828	7,386

LPGによる二酸化炭素削減	
取り組み計画	達成状況
数値目標	○
・運転時間・使用時間の削減	○
・断熱・保温の強化(扉・開口部の隙間対策)	○



取組紹介

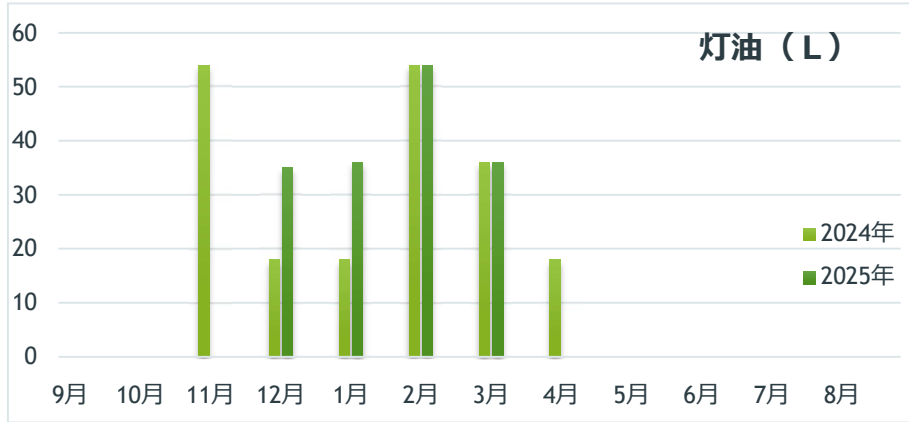
- ・使用していない時間帯の元栓・機器OFFの徹底
- ・タイマー・自動停止装置の活用
- ・立上げ・立下げ時の無駄燃焼削減
- ・扉・開口部の隙間対策

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2024年	0.41	0.00	0.41	0.41	0.62	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.00
2025年	0.41	0.21	0.41	0.41	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

灯油による二酸化炭素削減	
取り組み計画	達成状況
数値目標	○
・ストーブの使用時間・運転時間の削減	○
・定期点検・燃焼調整の実施	○
・断熱・保温対策の強化	○

取組結果とその評価

・現場事務所及び詰所でのストーブの設置での使用であったが、今年は暖冬だったこともあり、使用しはじめが遅く12月からの使用となった。また、暖かくなるのも早かったため、使用期間が狭くなり、使用量が減り、結果二酸化炭素排出量が基準年比較で81.31%と削減した。ただし、冬季の毎月使用量だけ見ると増えているので、こまめな電源オフ、断熱材等の利用については継続して行う必要がある。次年度は新社屋になり、詰所での使用は削減される見通しである。



取組紹介

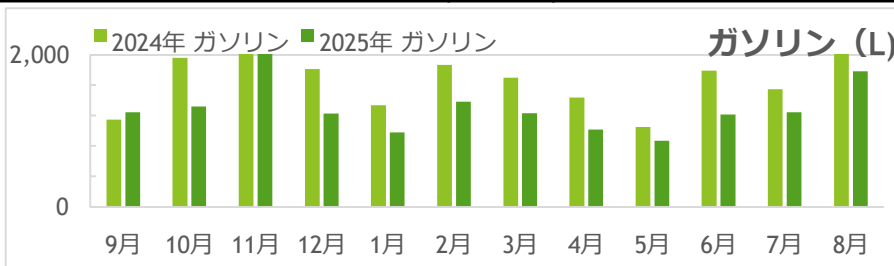
- ・不要時のこまめな電源オフ
- ・使用前の点検
- ・隙間風等に対して断熱材等で処置をする

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2024年	0	0	54	18	18	54	36	18	0	0	0	0
2025年	0	0	0	35	36	54	36	0	0	0	0	0

自動車燃料による二酸化炭素削減	
取り組み計画	達成状況
数値目標	×
・エコドライブの徹底	○
・効率的な重機運用	○
・車両整備・点検の徹底	○

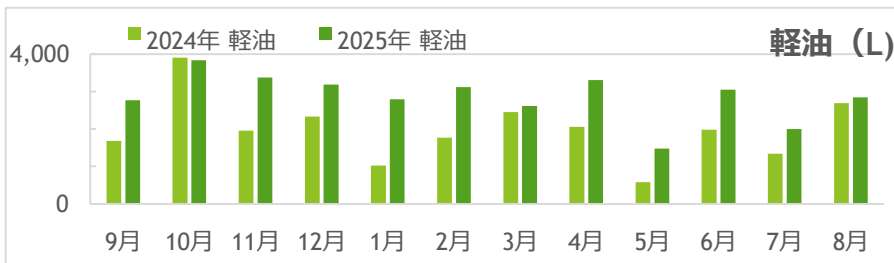
取組結果とその評価

ガソリンの使用量については、基準年比86.2%と減少したが、軽油が144.6%と大幅に増えたことにより、全体として119.5%と増加した。軽油が増えた要因としては売上高225百万の小島町塚生1期宅地造成工事、環境センター整備工事等土工施工量の大きい現場が多かったことが上げられる。現場増加により使用量が増えることについては仕方のないことはあるが、常に効率的な重機運用に配慮し、計画をするよう徹底したい。ガソリンについては社員数は増えているにもかかわらず減少したというのは、エコドライブの浸透、また車両整備・点検の徹底が行えていることが改善の要因であると考えられる。



取組紹介

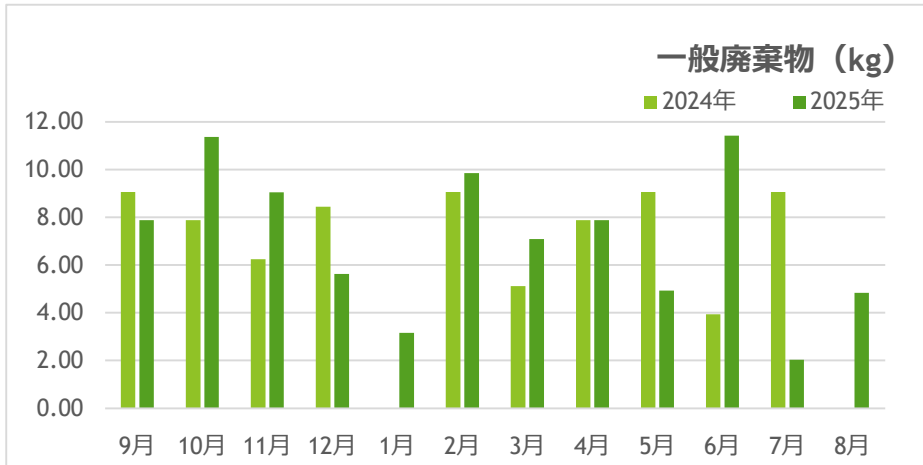
- ・エコドライブの徹底
 - 自動車日報によるガソリン消費の管理
 - 回覧による安全運転指導およびエコドライブ指導
- ・重機・建設機械を選定する際に、工事の作業規模にあった車両を採用する
 - バックホウのバケット容量
 - 低騒音型・超低騒音型
 - 低排出ガス対策型
- ・車両整備・点検の徹底
 - タイヤ空気圧の適正管理
 - エンジンオイルの定期交換



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
2024年	ガソリン	1,146	1,959	2,221	1,812	1,338	1,865	1,696	1,436	1,050	1,789	1,549	2,128
	軽油	1,676	3,903	1,955	2,333	1,020	1,766	2,448	2,058	580	1,977	1,336	2,686
2025年	ガソリン	1,245	1,318	3,731	1,227	980	1,382	1,230	1,014	870	1,212	1,242	1,781
	軽油	2,766	3,837	3,371	3,188	2,794	3,118	2,608	3,301	1,475	3,050	1,998	2,838

一般廃棄物の削減	
取り組み計画	達成状況
数値目標	×
・紙ごみの削減	○
・購入時点でのごみ削減(グリーン購入)	○
・裏紙・再利用の徹底	○
・分別ルールの明確化	○
・資源回収の強化	○

取組結果とその評価	
前年度比112%と増加した。12月に仮事務所への引っ越し、2025年9月に新社屋への引っ越しがあったことから、前後に一般廃棄物の処分が増えた。ある程度仕方のないことではあるが、書類をため込まない、普段からペーパーレス化を意識するなどしていく必要がある。	



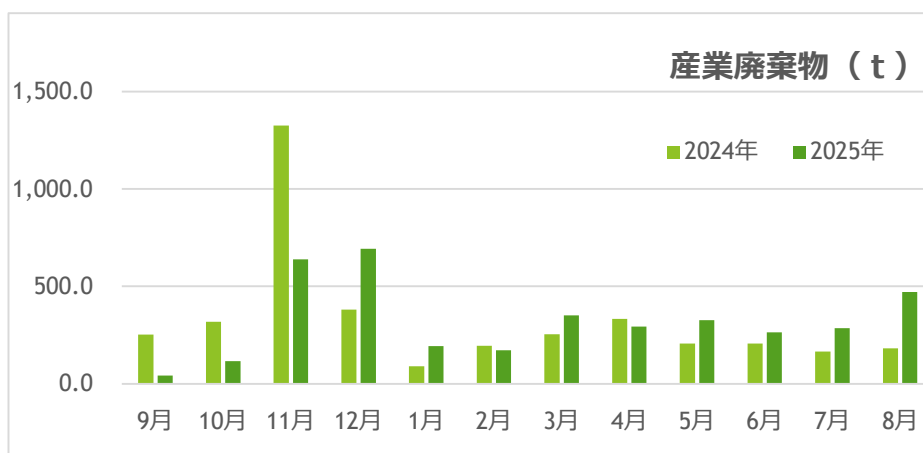
取組紹介

- ・ペーパーレス化
(電子データ、クラウド、PDF活用)
- ・両面印刷・集約印刷の徹底
- ・会議資料の削減・電子配布
- ・購入時点でのごみ削減(グリーン購入)
- ・詰替え製品の優先購入
- ・簡易包装・過剰包装商品の回避
- ・コピー用紙の裏面使用
- ・メモ用紙として再利用
- ・分別表示の掲示
- ・分別方法の教育・周知

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2024年	9.06	7.88	6.24	8.44	0.00	9.06	5.12	7.88	9.06	3.94	9.06	0.00
2025年	7.88	11.36	9.04	5.62	3.15	9.85	7.09	7.88	4.93	11.43	2.03	4.83

産業廃棄物の削減	
取り組み計画	達成状況
数値目標	×
・分別による廃棄量の削減	○
・種類別ボックスの設置	○
・過剰使用・使い捨て工程の見直し	△
・資源化(リサイクル)の推進	○

取組結果とその評価	
前年度比101%と微増した。一般廃棄物と同じく仮事務所への引っ越し、新社屋への引っ越しが大きく影響した。しかし、資源化できるものに関してはリサイクル業者に出すなどして抑えることができた点は評価できる点である。	



取組紹介

- ・原材料の適正投入
- ・使い捨て治具・資材の削減
- ・必要最小限での使用徹底
- ・工程ごとに分別
- ・混合廃棄物を出さない
- ・木パレット・通い箱の再使用
- ・容器・ドラム缶の返却・再利用
- ・金属くず・廃プラスチック・廃油・木くずのリサイクル

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2024年	252.1	318.1	1,326.3	380.3	88.7	194.4	252.9	333.2	205.7	205.7	165.0	180.6
2025年	40.8	116.0	639.2	692.7	193.3	171.3	350.1	293.4	325.3	263.6	285.2	470.7

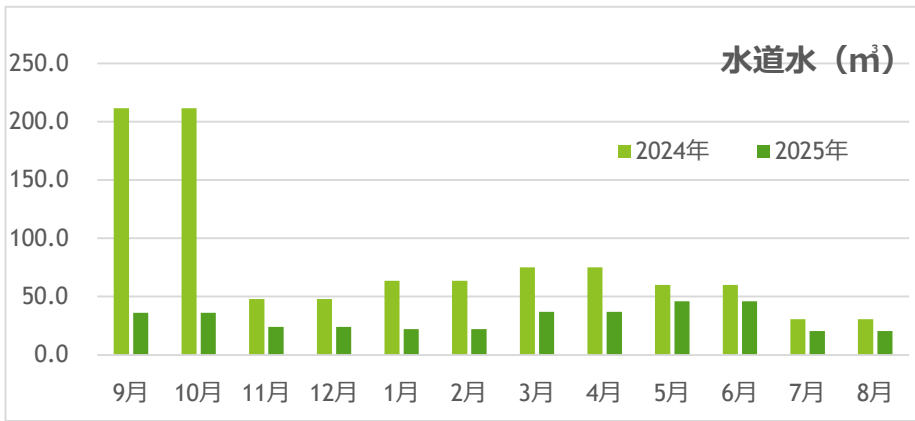
建設副産物の再資源化率の向上	
取り組み計画	達成状況
数値目標	○
・分別の徹底	○
・再資源化先の開拓	○
・種類別ボックスの設置	○
・再資源化しやすい状態で排出する	○
・作業員・協力会社への教育	○

建設副産物に関しては、現在100%再資源化することが出来ている。業者と今後もよい関係の中、再資源化を進めていきたい。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
再生資源率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
再資源化量	40.8	116.0	639.2	692.7	193.3	171.3	350.1	293.4	325.3	263.6	285.2	470.7

水道水の削減	
取り組み計画	達成状況
数値目標	○
・ポスター掲示による節水の周知徹底	○
・作業方法・洗浄方法の見直し	△
・雑用水・再利用水の活用	△

基準年度比37.97%と大幅な減少となった。ただし、基準年の9月・10月の値が水漏れによるものであったため実際にはそこまで大幅減少ではない。全月について使用量を減らすことができていたことは評価できる。今月は仮事務所の期間もあったことも影響しているが、今後は雨水の更なる活用、車両洗浄時の与洗い・本洗いの分離等、実施できる内容を徹底するようにしたい。



取組紹介

- ・使用していない時の蛇口の確実な止水
- ・清掃・洗浄時の流しっぱなし防止
- ・蛇口・配管の水漏れ点検
- ・バケツ洗浄への切替
- ・予洗い・本洗いの分離
- ・雨水の散水・清掃利用

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2024年	211.5	211.5	48.0	48.0	63.5	63.5	75.0	75.0	60.0	60.0	30.5	30.5
2025年	36.0	36.0	24.0	24.0	22.0	22.0	37.0	37.0	46.0	46.0	20.5	20.5

溶剤の適正管理	
取り組み計画	達成状況
・有害性物質の表示の徹底	○
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○
・発注量の適正化	○
・在庫管理による不良在庫の削減	○

有害物質の表示については徹底することが出来ていた。また、適正量の発注により、在庫を多く抱えることもなかった。

化学物質の適正管理	
取り組み計画	達成状況
・リスクアセスメントの実施	○
・有害性物質の表示の徹底	○
・従業員教育	△

各現場において、化学物質を使用する際はリスクアセスメントを実施することを徹底し、共通意識をもつことができていた。

環境に配慮した工事の推進	
取り組み計画	達成状況
・環境配慮型建設機械の使用	○
・油流出防止	○
・濁水発生防止	○

特に公共工事においては環境配慮型建設機械の使用が進んでおり、油流出、濁水発生の発生はしていない。

課題を解決しチャンスを活かす取組		
取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	今期は新入社員が3名入社、それに伴い、工事本部長を筆頭に新入社員教育が行われた。また、外部講習にも積極的に参加し、DX化、環境への対応等スキル向上に取り組んだ。
・従業員教育による個々人のスキル向上	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○	
・働き方改革による快適職場構築	○	

環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
大気汚染防止法	特定建設工事
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	特定建設工事
振動規制法	特定建設工事
水質汚濁防止法	事故時の処置
農薬取締法	農薬の適正管理
フロン排出抑制法	空調機、重機・建設機械の空調機
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

◆外部からの環境上の苦情・要請等

今年度における活動において、環境に関わる苦情・要請等は特にみられませんでした。

緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：重機・車両事故

■実施日： 2025年8月31日	■実施場所： 新事務所2F大会議室
■参加者： 全社員	■実施内容： 心肺停止時の緊急対応講習
■実施状況	

講師	杉本 成光
使用手順書	緊急事態対応手順書(重機・車両事故等)
使用機器	AED
資料	レジュメ
写真	



PHILIPS

AEDの使い方の急手当て(CPR)の手順



心肺蘇生とAED

倒れている人を見かけたら、どうしたらいいのでしょうか？
ここではその場に居合わせた一般市民が行う、一次救命処置(心肺蘇生とAED)の流れについて紹介しています。

一次救命処置(心肺蘇生とAED)の流れ

1. 反応の確認

顔を軽くたたきながら呼びかけます。反応がなければ次へ。



2. 119番通報とAEDの手配

大きな声で応答を呼び、119番通報とAEDの手配を依頼します。



3. 呼吸の確認

胸と腹部の動きを見て呼吸の確認をします(10秒以内)。呼吸がないか、死滅期呼吸(しゃくり上げるような不規則な呼吸)が見られる場合はただちに胸骨圧迫を開始します。

※呼吸をしているかどうか分からない場合には胸骨圧迫を開始します。
※心肺停止直後の傷病者に見られる、しゃくりあげるような死滅期呼吸(しせんきこきゅう)の際は、呼吸なしとみなしてすぐさま胸骨圧迫が必要です。

呼吸がなければ119番に119番を伝えておきます。心臓マッサージを行います。



4. 胸骨圧迫

胸の真ん中を約5cm、1分間に100〜120回のテンポで強く押します。(人工呼吸を行う技術と意思がある場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を30:2の比で行います)



5. AED到着

AEDが到着したら、ただちに電源を入れます。



6. パッドを装着

パッドに描かれている線の位置に装着します。



7. 解析と電気ショック

AEDが心電図の解析を行います。
ショックが必要と判断されたら、ショックボタンを押して電気ショックを実行します。

※解析中やショック実行中は、倒れている人に触れないこと



8. 胸骨圧迫

胸骨圧迫を再開します。
(人工呼吸を行う技術と意思がある場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を30:2の比で行います。)

倒れている人に反応が見れるか、救急隊が到着するまで7、8、を繰り返します。



動画

フィリップスのハートスタートAEDの使い方を動画でご案内します。

クッキーの配置が不明り、このコンテンツを表示することはできません。
このコンテンツを表示するには、クッキーの設定を変更し、次のタイプ(B)「パフォーマンスクッキー」を受け入れる必要があります。
クッキー設定を表示、変更するには、ここをクリックしてください。
よろしくお願ひします。

クッキーの配置が不明り、このコンテンツを表示することはできません。
このコンテンツを表示するには、クッキーの設定を変更し、次のタイプ(B)「パフォーマンスクッキー」を受け入れる必要があります。
クッキー設定を表示、変更するには、ここをクリックしてください。
よろしくお願ひします。

代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は来期初めより新社屋へ移転する予定であり、今期は仮事務所での業務運営となりました。土木・舗装・造園事業においては、事務所環境も含めた日常業務が環境負荷低減活動の基盤となりますが、仮事務所という制約のある環境下では、エネルギー使用や設備面において計画通りの対応が難しく、環境目標の一部で達成に至らない項目が生じました。しかしながら、現場・事務所双方において、できる範囲での省エネルギーや廃棄物削減等に継続して取り組んできました。

来期より使用を開始する新社屋はZEB対応建物であり、建設業として率先して環境配慮型施設を活用することで、電力使用量の削減や二酸化炭素排出量の抑制が可能となる見込みです。これは当社自身の環境負荷低減にとどまらず、今後の工事提案や施工において環境配慮を重視した取組を進めていく上でも、大きな意義を持つものと考えています。しかし、これらの効果は設備任せではなく、社員一人ひとりの行動によって初めて実現されるものです。新社屋への移転を機に、エコアクション21の取組を「形だけの活動」ではなく、「日常業務に根付いた実践」として定着させてください。

一方、事業環境としては売上は堅調に推移しているものの、公共工事の減少が続いており、今後は民間工事や多様な分野への対応力強化が重要な課題となっています。また、資材価格やエネルギーコストの高騰は施工や経営に大きな影響を与えており、環境配慮とコスト管理を両立した施工体制の確立が求められています。

当社は2年前の合併を経て、社内ルールや意識の統一が着実に進んできました。合併後に統一されてきた社内ルールや意識をさらに定着させ、部門間で情報共有を図ることを期待します。

エコアクション21の取組は、環境負荷低減だけでなく、安全・品質・コスト管理、さらには会社の信用力向上にもつながる重要な経営活動です。地域社会から信頼され続けるためにも、各自が自分の立場でできる行動を考え、実行していくことを強く期待します。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり

これまでの環境活動の紹介

☆ 淡海エコフオスター制度 ～美しいまちづくりを目指して～

滋賀県が推進する公共的場所の美化および保全の為、ボランティアで清掃するエコフオスター活動に、会社周辺の主要道路約1kmの範囲で、空き缶やたばこの吸い殻等の散乱ごみの回収といった環境美化活動を月1回実施し、より美しいまちづくりの活動に参加しています。



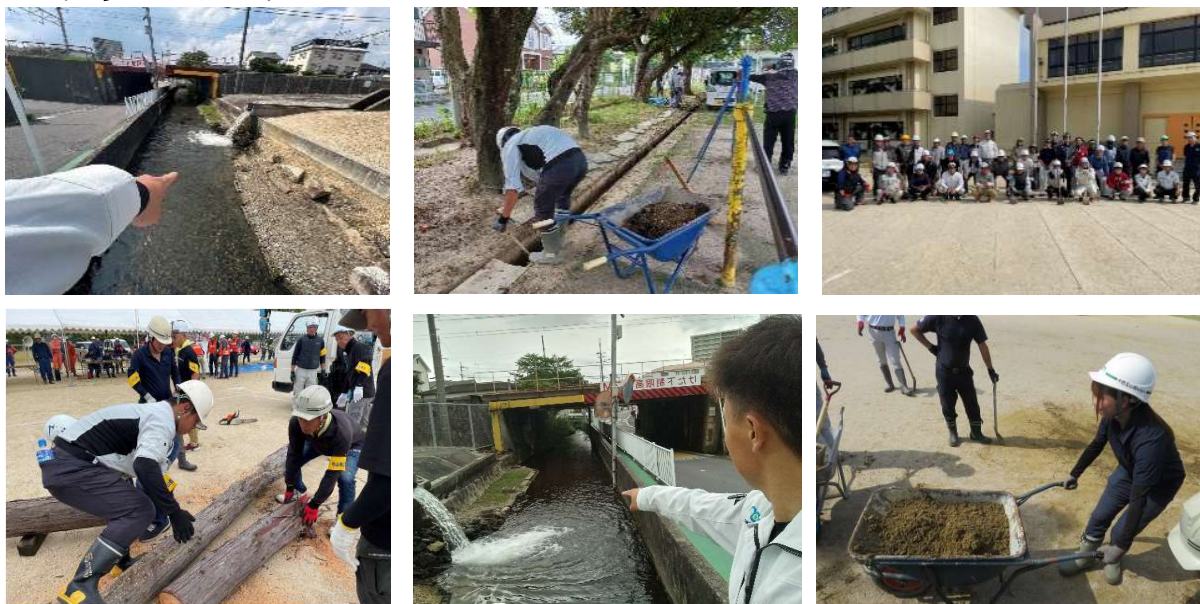
☆ 環境美化活動

12月1日は「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」において、ごみの散乱防止について県民の関心と理解を深めるために定められた「環境美化の日」。他にも5月30日はごみゼロ大作戦の日、7月1日はびわ湖を美しくする運動「びわ湖の日」です。これらの日に合わせて、環境美化活動に参加しています。



☆ 地域貢献

守山商工会議所建設部会が主催し、市内小中学校からの依頼による地震災害総合訓練・集中豪雨水害防止奉仕作業や、建設業協会・消防局他が合同にて行う消防連携訓練等に積極的に参加しています。



取組紹介



当社が取り組んでいる制度とSDGsへの紐付け

- ・一般社団法人 持続性推進機構

～「環境省」制定のガイドラインに基づく「環境経営」の認証・登録制度～



- ・一般社団法人 日本品質保証機構

組織の品質活動や環境活動を管理するための仕組み



国際標準化機構 (ISO) 認証

- ・滋賀県

職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業の登録制度



- ・滋賀県

自らがイクボスであること、イクボスになろうとしていることを宣言するもの



- ・日本健康会議

健康長寿社会の実現に向けた取組として健康管理を経営的な視点で考え健康の保持・増進につながる取組を戦略的に実践する「健康経営」を推進する



- ・滋賀県女性活躍推進企業認証制度

女性の活躍推進に取り組む企業・団体を応援する認証制度

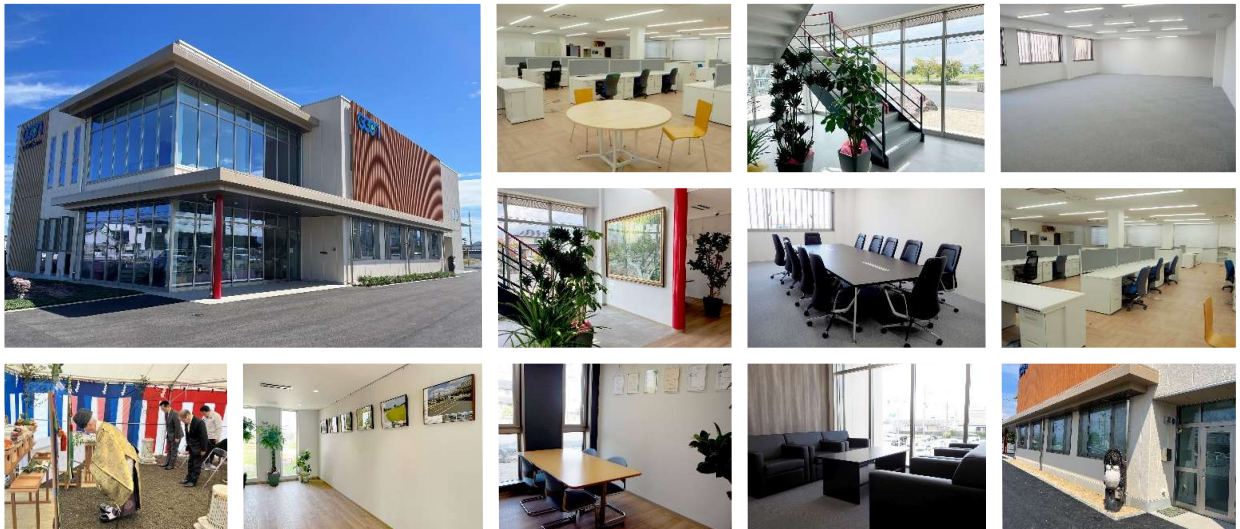


◆編集後記

本レポート対象期間は仮事務所での活動となり、基準年との比較が難しく、目標値をクリアできない項目も多くありました。仮事務所への引っ越しではたくさんの産業廃棄物、一般廃棄物が出ました。しかし2025年9月、予定より建設が進んでいた新社屋が完成し引っ越しを行ったことで、社内の無駄の見直しを行うことができ、またZEB化対応の建物になったことから一層環境への取組が活発化されることが期待できます。

合わせて社員それぞれの意識改革が行えるよう取り組んでいきたいと思っております。

新社屋をご紹介



新社屋 CONCEPT

中西宝山園は環境保全を意識した事業活動の一つとして、ZEB化対応の新社屋にしました。ZEB（Net Zero Energy Building）とは、「電気や熱などのエネルギー使用量を最大限減らすために、断熱性能の壁や窓、電力消費の少ないLED照明などの省エネ機器を駆使し、それでも減らせない分を太陽発電などの再生可能エネルギーを利用しておぎなおうという考えで設計・建設されたビル」です。企業が社会から求められる、地球環境や就労環境、地域環境への配慮、SDGsへの貢献を実現します。また、導入した再生可能エネルギー設備で、一時的にエネルギー自立できるため、地震や電力不足による停電が起きても、業務が停滞することを防ぎます。

